「発表要旨集」版下原稿の作成上の注意

(1) 原稿は、PDF(.pdf)またはMS WORD(.doc または .docx)形式（Windows）で作成した電子データを下記サイトよりご提出ください。トラブルを防ぐため、できるだけPDFファイルでの提出にご協力ください。

「日本水文科学会学術大会発表申込・要旨原稿投稿フォーム」

（2017年8月1日よりオープン）

http://www.suimon.sakura.ne.jp/2017Komazawa/index2017.html

(2) **Ａ４版（縦297㎜×横210㎜）の用紙を縦型に使用してください。**上下のマージンは、　各30㎜、左右のマージンは各25㎜に設定してください。字数と行数は、全角文字で35～40字、35～40行としてください。

(3) 第１～２行目に題目、３～４行目に発表者氏名（所属）を日本語で記入し、第５行目　以降に題目、発表者氏名（所属）を英語で記入してください。続いて、キーワードを３～４語、日本語（英語併記）で記入してください。これらを記入した後、本文を始めてください。題目は、本文よりも大きな字で作成ください。

(4) 第１～４行目の題目・発表者氏名（所属）は、左肩に発表番号を記入するため、30㎜程度の空白を設けてから書き始めてください。

(5) 連名発表の場合は、口頭発表者氏名の左側に○を付してください。

(6) 図表を使用する場合は、記入枠内に直接書くか、貼り付けるかしてください。

(7) **版下原稿は、「２枚」あるいは「４枚」で作成してください。**版下原稿の２枚は、見開き２ページとなります。**Ａ４版の版下原稿は、長さで87%程度に縮刷され、Ｂ５版の冊子になります。**文字や図表の大きさにご注意ください。

(8) 上記の作成要領と著しく異なった体裁の場合には、受け付けられないこともあります。

(9) 手書きにて原稿を作成される場合やご不明な点がありましたら、集会委員会までお問い合わせください。

「発表要旨集」版下原稿の作成例－Ａ４版（縦297㎜×横210㎜）用紙縦型－

↑
30㎜余白
↓

←25㎜→ 余白　←30㎜→ 余白

０１　阿蘇山周辺の湧水と地下水系について

←25㎜→ 余白

○阿部大地（地球大学）・富士太郎（水文科学研究所）

Springs and Groundwater Flow System in the Mt. Aso Area

Abe Daichi (Univ. of ····) and Fuji Taro(·····)

ｷｰﾜｰﾄﾞ(Key word)：阿蘇山(Mt.Aso)、湧水(spring)、
地下水流動系(groundwater flow system)

最近、阿蘇山周辺の□□□